

「長崎被爆体験証言会と紙芝居」実施計画案

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク

1 長崎被爆体験証言会と紙芝居

- (1) 証言会「私の長崎被爆体験 ～生き抜いた80年」
証言者 浦田藤枝さん（95歳・玉名市岱明町）」

- (2) 期 日 令和7（2025）年8月23日（土）

開場：午後12：30

開演1時30分～4時30分頃

- (3) 参加費 無 料 ※常設・企画展入館は有料

- (4) 場 所 玉名市立歴史博物館「こころピア」

レクチャーホール 定員60名

※団体参加：妙法寺寺子屋の児童（16名+引率2名）

2 当日日程 等

進行（本田）

- (1) 開 会 ……（進行）

- (2) 挨拶・開催趣旨説明等 他 ……（戸寄）
13：30～13：40

- (3) 講話「ノーベル平和賞の受賞と熊本県被団協の活動」
13：40～14：10

熊本県被団協二世部会共同代表

原田俊二さん（78歳・熊本市北区植木町）」

- ☐ 当日資料：被爆80年声明A4版1枚、「被団協」新聞
- ☐ ノーベル平和賞受賞式での田中さんスピーチ
- ☐ 「共感と連携の安全保障」を求めるメッセージ
- ☐ 「ノーモア・ヒバクシャ」「被爆者」の声に耳を傾ける！
- ☐ 日本政府の原爆被害への国家補償
- ☐ 「受忍」論と国際法、「戦争と国民の犠牲の関係」性
- ☐ 戦争抑止の為に、戦後ドイツでの一般市民への補償確立
- ☐ 日本被団協から何を学び、継承するのか？



浦田藤枝さん証言の様子
令和6年10月8日



被団協にノーベル賞

- (4) 紙芝居上演 14：10～14：40

「長崎原爆被爆のおはなし ～いのちを大切に、戦争のない世界をつくるために」

- ☐ 「熊本被爆二世・三世の会」製作、青木栄さん監修の紹介及び会活動の紹介
- ☐ 越智咲耶子さん自己紹介、る絵本作成への思い等の紹介
- ☐ 絵製作者の「越智咲耶子さん（熊本市中央区・高校生平和大使支援の一万署名活動グループ員）」他による上演、※プロジェクター使用

- (5) 証言会「私の長崎被爆体験 ～生き抜いた80年」

浦田藤枝さん（95歳・玉名市岱明町）」

14：40～15：20

- ☐ 当日資料は、別途A4版1枚
- ☐ 資料による補足説明、質疑応答 他

- [休 息] 15：20～15：30

- (6) 戦時資料貸出キット第二弾「子どもたちが見た戦争 II」
の紹介 ……（末永）

15：30～15：40

- ☐ 各コーナーでの戦時資料貸出キット第二弾の紹介
- ☐ ワークショップに参加しない方々への現物紹介

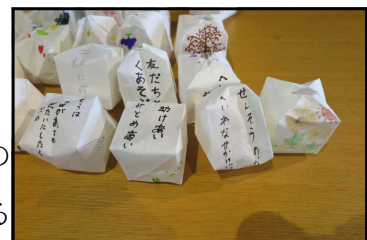


長崎平和資料館にて

- (7) ワークショップ「平和の紙風船をつくろう
～戦時標語紙風船と平和へのメッセージ」……（高谷）

15：40～16：20

- ☐ 参加者の児童・親御さん方による紙風船折り、平和の絵描き、メッセージ作成
- ☐ 「たまな地域高校生ピースボランティア」7名による製作活動の支援、糸通し作業、発表支援
- ☐ 出来上がり作品の紹介、記念撮影



出来上がった平和の紙風船

(8) 閉 会

最終終了16:30頃……(進行)

3 準備、会場配置、団体対応 その他

(1) レクチャーホール内、配置等

- 正面 プロジェクター + スクリーン、PCは高谷持参
- 左側机2名席(当初:浦田さん+原田さん、後半:浦田さん+越智さん)、名前札準備
- くまもと戦跡ネット席、PC操作席(小型机) 右側4名椅子のみ
- レクチャーホール席:40名・ホール外側20名の計60名席を準備
- 右側手前・カメラ 報道関係は「立ち席」にて
- 会場に、戦時動員の学徒隊用品 腕章・バッチ・鉢巻(複製)を紹介展示

(2) ロビー配置等

- 平机4脚、ブルーシート敷き
- 紙風船折り用の大判油こし紙、平和の絵描き・メッセージ書き用の色ペン・色鉛筆他
- 戦時標語入の「紙風船」実物展示

(3) 妙法寺寺子屋児童の対応等

- 小2年2人・3年2人・4年2人・5年10人の計16人、引率濱崎様ご夫婦
- 「紙芝居」開始の10分前での入館。会場右側で座席指定
- 「紙芝居」の視聴は、「常設・企画展見学(14:40~15:20)」館職員で案内対応。
- 休息後の「戦時資料貸出キット」紹介時は、後席で視聴し、「ワークショップ」まで活動
- 取材対応の高学年児童を紹介

(4) その他

- 浦田藤枝さんの送迎は、くまもと戦跡ネット戸崎さんで対応
- 越智咲耶子さん・青木栄さん、原田俊二さんの来館確認
- たまな地域高校生ピースボランティア・井芹先生の来館確認、交通費等の支給

被爆者 玉名市の 浦田さんの 体験 紙芝居に

浦田さん(前中央)の戦時体験を聞く北陵高の生徒ら=14日、玉名市

浦田藤枝さん

戦争の悲惨さを知り平和への思いを受け継ぐと、北陵高(玉名市)で14日、長崎県で15歳の時に被爆した浦田藤枝さん(前)→同市一の体験を聞く会があり、生徒10人らが平和の尊さを学んだ。

浦田さんは、当時の被爆者の証言を聞き、戦争の悲惨さを知り平和への思いを受け継ぐと、北陵高(玉名市)で14日、長崎県で15歳の時に被爆した浦田藤枝さん(前)→同市一の体験を聞く会があり、生徒10人らが平和の尊さを学んだ。

浦田藤枝さん

戦争の悲惨さを知り平和への思いを受け継ぐと、北陵高(玉名市)で14日、長崎県で15歳の時に被爆した浦田藤枝さん(前)→同市一の体験を聞く会があり、生徒10人らが平和の尊さを学んだ。

平和への思い 受け継いで

北陵高生に体験語る「助け合って」

15歳長崎で被爆 浦田さん(玉名市)

浦田藤枝さん

戦争の悲惨さを知り平和への思いを受け継ぐと、北陵高(玉名市)で14日、長崎県で15歳の時に被爆した浦田藤枝さん(前)→同市一の体験を聞く会があり、生徒10人らが平和の尊さを学んだ。

浦田藤枝さん

戦争の悲惨さを知り平和への思いを受け継ぐと、北陵高(玉名市)で14日、長崎県で15歳の時に被爆した浦田藤枝さん(前)→同市一の体験を聞く会があり、生徒10人らが平和の尊さを学んだ。

左:「被爆者の体験紙芝居に」
2024年8月8日記事
上:「平和への思い 受け継いで」
2025年7月20日記事



連絡先

□玉名市立歴史博物館ころこピア 田中、田熊
□くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク
本田涼子・末永 崇・戸寄孝行・高谷 和生
〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
高谷個人携帯 090-1513-5528
高谷Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp
HP URL http://www.kumamoto-senseki.net/

□期日 令和7(2025)年8月23日(土)
開場：午後12:30
開演1時30分～4時30分頃
□場所 玉名市立歴史博物館「こころピア」
レクチャーホール 定員60名
□くまもと戦跡ネット・玉名市立歴史博物館

長崎被爆体験証言会と紙芝居

- 1 開 会
- 2 挨拶・開催趣旨説明 ……13:30～13:40
- 3 講 話 ……13:40～14:10
「ノーベル平和賞の受賞と熊本県被団協の活動」
熊本県被団協二世部会共同代表 原田 俊二さん
- 4 紙芝居上演 ……14:10～14:40
「長崎原爆被害のおはなし ～いのちを大切に、戦争のない世界をつくるために」
高校生平和大使支援の一万署名活動グループ 越智 咲耶子さん
- 5 証言会 ……14:40～15:20
「私の長崎被爆体験 ～生き抜いた80年」
玉名市岱明町 浦田 藤枝さん
- [休 息] 15:20～15:30
- 6 紹 介 ……15:30～15:40
戦時資料貸出キット第二弾「子どもたちが見た戦争 Ⅱ」
くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク
- 7 ワークショップ ……15:40～16:20
「平和の紙風船をつくろう
～戦時標語紙風船と平和へのメッセージ」
くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク
- 8 閉 会 ……16:30頃



□被団協に ノーベル賞 □紙芝居「長崎原爆被害のおはなし」

「私の長崎被爆体験 ～生き抜いた80年」 浦田 藤枝 さん

- ご自身のこと
当時のご自宅、ご家族・生活のご様子
- 当時の「城山国民学校、純心高等女学校」での学校様子
- 純心高女学徒隊での「三菱長崎造船所第三機械工場（大橋工場）での労務内容」
学徒隊「神潮」鉢巻き
- 昭和20年8月9日「あの日」被爆の様子
母親との食料の買い出しへ
周りや自宅の様子
見上げた「B29ボックスカー」
骨のかけらになった家族
家族を探して
血まみれのおにぎり
当日夕方の米軍機機銃掃射
家族の「検視調書」
この世ではない「地獄」が、「人間であれば、人間らしい死に方をさせてあげたかった」
- 敗戦時（8月15日）の様子
戦争終結の「みことば」と「平和」
親友の親にぶつけられた怒り
流言「原爆ぶらぶら病」のこと
- 戦後のご様子、生活をお教えたいただけないでしょうか
今はどの様にお暮らしですか？
生まれた子の手と足を見ろ！
憎悪や命の不安を乗り越えて、生き抜いた80年
- 紙芝居の作成、そして上映についてのご感想は
あまりにも被爆体験は、すさまじく現実離れたから……
- 太平洋戦争が終わり「被爆・80年」となります。
いま現在も、ウクライナ戦争・ガザ紛争が
当時の事と重ね
その思いをお話しいただけますでしょうか。
- 「長崎被爆体験証言会」で、
若い世代にお伝えしたいことは！
「まずは生きる」
「ふたたびヒバクシャをつくらない」

